



宮城県支部

支部長 寺嶋 秀夫

## 2022年度 宮城県支部 第16回通常総会及び勉強会

日 時：2022年5月22日(日) 11:00～15:00

会 場：仙台市シルバーセンター（6F第2研修室）

仙台市青葉区花京院一丁目3番2号 Tel.022-215-3191

参加者：39名(会員14、非会員19、付添1、医師2、機器会社3)

来 賓 顧問医師：東北大学病院 循環器内科 講師 中野 誠 先生  
若山医院 院長 若山 裕司 先生

機器会社：アボットメディカルジャパン(合) 大槻 拓也 様

日本メドドロニック(株) 高橋 勝彦 様

バイオトロニックジャパン(株) 木村 欣幸 様

※コロナ禍による行事の中止・延期が相次ぎ、ようやく3年ぶりの開催となった。



## 第一部 総会 11:00～12:00

1. 支部長挨拶
2. 来賓挨拶：若山医院 院長 若山裕司 先生
3. 議事

### (1) 2022年度総会決議事項

- |       |               |
|-------|---------------|
| 第一号議案 | 2021年度事業報告    |
| 第二号議案 | 2021年度会計決算報告  |
| 第三号議案 | 2022年度事業計画(案) |
| 第四号議案 | 2022年度会計予算(案) |

### (2) 2020年度総会決議事項(理事会で決議)の審議・承認

### (3) 2021年度総会決議事項(理事会で決議)の審議・承認

※議案はすべて原案通り可決された。また総会が開催されなかった2020年度及び2021年度の総会決議事項について、会則23条2項に基づく審議・承認がなされた。

## 第二部 勉強会 13:00～15:00

1. 講演「ペースメーカー治療の現状～コロナ禍をどう生きるか」  
講師 若山医院 院長 若山裕司 先生
2. Q & A



若山裕司先生から、コロナ禍のペースメーカー診療の現状、コロナ感染の状況と治療薬の現状、コロナワクチン接種等について、若山医院における実際の診療を紹介しながらお話しをいただき、親しみやすく理解することができた。

### (1) コロナ禍のペースメーカー診療

コロナ禍であっても、本邦のペースメーカーの植え込み・交換は減少しておらず、必要な医療が適切に行われていた。遠隔モニタリングの使用、より体に優しい生理的なペースメーカー治療、リードレスペースメーカーなどの新しいペースメーカー治療、ペースメーカー感染の予防などが、最近のデバイス治療のトレンドである。

### (2) コロナ感染について

新型コロナ感染は重症肺炎に至る恐ろしいウイルス感染症と考えられていたが、最近のオミクロン株では感染が上気道にとどまり重症化するケースは少ない。現状では若い世代の感染、特に学校や保育園のクラスターが多く、そこから高齢者世代への感染が増えている。宮城県でも感染者数は高止まりで、高齢者では依然命にかかわるケースもあるため、注意が必要である。

飲み薬の治療薬は現在「ラゲブリオ」・「パキロビッド」の2剤が登録済クリニックで処方可能である。しかしながら、処方には重症化リスクの高い人に限られ、またパキロビッドは併用禁忌薬が多く、使用のハードルが高い。今後、承認申請中の塩野義製薬製の内服薬が使える可能性があり、より治療が容易になることが望まれる。

### (3) ワクチンについて

全国民の半数以上・65歳以上の9割が3回目のワクチン接種を終了しており、その効果もあり重症化するケースは減少している。これまでのファイザー・モデルナのmRNAワクチンに加えて、副反応の少ないノババックス社製（武田薬品）の組替えタンパクワクチンも使用可能となっている。

4回目接種が話題になっているが、対象は①60歳以上で、②基礎疾患のある方や重症化リスクの高い方となっており、目的はあくまで「重症化予防」である。

### (4) ウイズコロナ(コロナと共存)について

ワクチンや治療薬の進歩でコロナ感染による死亡率は減少している。一方、コロナ自粛の長期化で、高齢者でフレイル（虚弱）状態が進行し、寝たきりになる例もある。これからはコロナ感染の対策をしつつ、通常に近い生活を取り戻していく取り組みが必要である。

政府からマスク着用に関する提言があり、野外などではマスクを外すようになっていく。これまでの知見から、ウイルスを人の手で完全に押さえることはできないが、ワクチンを効果的に使いながら、ある程度の感染は許容しつつ日常生活を送るような、いわゆるウイズコロナを目指す生活を目指す取り組みが必要である。



Q & Aは、時節柄ペースメーカーと4回目ワクチン接種について関心が高かった。

**Q1. まだ60歳になっていませんが4回目接種はできるでしょうか？**

A 4回目のワクチンの目的は重症化予防です。ペースメーカー治療をされている方全てが重症化リスクが高いわけではありません。4回目ワクチンを早めに接種した方がいいかどうかは基礎疾患によりますので、主治医にご確認ください。

**Q2. ペースメーカーを入れるぐらいであれば基礎疾患に当るのではないのでしょうか？**

A ペースメーカー植え込みになる心疾患があると考えれば、ペースメーカー自体が基礎疾患という考えもできるかもしれません。一方ではワクチン副反応がご心配で、4回目の接種を迷われている方も多いのが現状かと思います。4回目接種を早めにすべき基礎疾患に該当するかどうかは、主治医に相談されるのが良いと思います。

※普通「ペースメーカー」と言われているのは①植込み型心臓ペースメーカー②植込み型両室ペースメーカー（CRT-P）③植込み型除細動器（ICD）など「心臓植込み型デバイス」を指す。

コロナ禍で引きこもり生活を余儀なくされた2年間、会員の皆様からいろいろな声が寄せられました。本日の勉強会を機会に普段の健全な生活を取り戻していただける事を願います。支えてくださいました顧問医師の先生方、機器メーカーの方々に深く感謝申し上げます。